

近畿運輸局同時発表

令和元年 7 月 18 日
総合政策局 物流政策課**共同物流 2.0 の新プロジェクト開始！**

～実車率 99.4%の超高効率輸送を実現～

国土交通省は、関光汽船（株）、（株）キューソー流通システム、日本パレットレンタル（株）が実施する加工食品と日用雑貨の輸送のモーダルシフト並びに共同輸送について、本日、総合効率化計画を認定し、運行が開始されました。この計画により、CO₂ 排出量 65% の削減やトラックの運転時間 86.8%の削減が図られます。

今般認定した計画は、元々（株）キューソー流通システムがキューピー（株）の加工食品を、サンスター（株）が日用雑貨を、個社毎に近畿⇒九州向けに陸送していたところ、関光汽船（株）が委託を受け阪九フェリー（株）の神戸～新門司航路を活用して、モーダルシフト並びに共同輸送を行い、また復路は日本パレットレンタル（株）の整備済みパレットを積載することで、ほぼすべての区間で実車として輸送し、空車での回送を極限まで無くした大変画期的な取り組みです。

通常、加工食品は「重量勝ち」（重量があり、トラックの容積を使い切れない）、日用雑貨は「容積勝ち」（軽いがかさばるため、最大限積んでも重量に余裕がある）であり、それぞれが単独で効率化を行うには限界がありました。

そこで、これらの商品をうまく組み合わせることで、重量も、容積も使い切ることを実現しました。

【見込まれる効果（年間）】

- ・ **貨物車両からの CO₂ 排出削減量：約 120.0t（65%削減）**
 - ・ **貨物車両の運転時間省力化：約 2,256 時間（86.8%削減）**
- 車両の重量も容積も最大限活用して**輸送**を行うことは、**大変画期的な取り組み**といえます。



事業の詳細につきましては、別紙もあわせてご参照下さい。重量も、容積も最大限活用（トライアル輸送）

<共同物流 2.0>

国土交通省では、物流分野における労働力不足や多頻度小口輸送の進展等を背景とする物流分野における省力化・効率化・環境負荷低減を推進するため、2 以上の者が連携した幅広い物流効率化の取り組みを支援しており、こうした**事業者の皆様**の工夫による**物流効率化が全国的に広がるよう**、引き続き事業者の皆様及び関係省庁等と連携しながら、物流の効率化に取り組んで参ります。

**【問い合わせ先】**

国土交通省 総合政策局 物流政策課 うがじん 宇賀神、西川、松永
代表：03-5253-8111（内線 53-334） 直通：03-5253-8799 FAX：03-5253-1559